

新規トンネル資材の効果確認試験

JAきたみらい

坂下 忠



①2020.2.21 左オニオンホット 右クリンテート ②2020.3.25 左オニオンホット 右クリンテート ③2020.3.25 左オニオンホット 右CTトンネル



④2020.4.17 左オニオンホット 右CTトンネル ⑤2020.4.17 オニオンホット ⑥2020.4.17 CTトンネル

試験目的	玉ネギ用トンネルPOの実用性確認			
試験作物 及び品種	玉ネギ			
試験資材 及び数量(規格)	クリンテートトンネル(0.05mm×460cm×100m)			
慣行資材	オニオンホット(0.05mm×460cm×100m)			
栽培方法	<table border="1"> <tr> <td>播種日</td> <td>2月24日</td> <td>(初期灌水 2月26日)</td> </tr> </table>	播種日	2月24日	(初期灌水 2月26日)
播種日	2月24日	(初期灌水 2月26日)		
資材使用期間	2月下旬～4月11日			

試験結果

(1)作業性について(慣行品との比較)

開反時の静電気は試験品のほうが少なく展張しやすい。

試験品はフィルムにハリ(硬さ)があり、開閉時に引っ張りやすい。慣行品は柔らかいため強く引っ張ると白化する心配がある。

(2)作物の生育状況または、収穫への影響

生育については遜色なかった。

(3)栽培管理上の優位点あるいは問題点について

【優位点】: 開反時の静電気は試験品のほうが少なく展張しやすい。試験品のほうがフィルムにハリ、硬さがあるため、開閉時に引っ張りやすい。試験品は透明性があり、トンネルをかけた状況でも苗が見やすい。

【問題点】: 特になし。

(4)資材の強度・耐久性・崩壊性について

特に差はみられないが、今後、継続使用して様子を見たい。

(5)保温効果について

温度差はほとんどなかった。

モニター感想

去年試験したトンネルポリは水滴が付いていた。さらに夜温も慣行品より低かった。

今年のトンネル用POは慣行品と同等で、苗の生育もほとんど差がなかった。

JA担当者の感想(岡本氏)

近年、一戸当たりの玉ねぎの作付面積の増加に伴い、苗の管理作業が早くなっており、より保温力の高いトンネルフィルムが求められてきている。

他社では保温力の高く、安価なPOフィルムが普及している中、新たに商品化するためには、それ以上のコストパフォーマンスが求められる。

その中でも、本試験品(クリンテートトンネル)は慣行品と比べて、安価で作業性も良く、普及性はあると思う。

今後の使用について

継続して使用したい。

1 農家のフィルム
2 マルチ

3 不織布

4 育苗資材

5 トンネル資材

6 防虫ネット

7 酪農資材

8 ICT機器

9 その他